

第6回 千代川の今後を考える学識懇談会 議事要旨

開催日時：令和4年4月25日（月）13:00～15:40

場 所：鳥取河川国道事務所（WEB会議）

1. 開会

- ・鳥取河川国道事務所所長 挨拶
- ・委員長 挨拶

2. 千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更案）（原案）（案）について

・事務局説明

- （1）千代川水系河川整備計画変更に向けたスケジュールについて、資料2にて説明
- （2）第5回会議までのご意見と対応について、資料3にて説明
- （3）最近の河川事業に関する動向について、資料4にて説明
- （4）千代川水系河川整備計画（変更）（原案）の主な変更内容について、資料5, 6, 7, 8にて説明
- （5）千代川水系河川整備計画（変更）（原案）への意見募集について、資料9にて説明

・質疑応答

資料番号	委員	意見及び質問	事務局の回答及び対応
資料1	—	意見なし	—
資料2	—	意見なし	—
資料3	A委員	気候変動の影響に対して海面上昇等の他の要素も影響があり、本文では「降雨量の増大等」という表現にした方がよい。	本文の内容を事務局内で精査し、必要に応じ修正報告する。※1
	B委員	再繁茂対策とは具体的にはどのような対策なのか。	通常の伐採だけでなく、ブルによる樹木の踏み倒し、再繁茂対策を実施している。
	C委員	今回の整備計画は河道掘削が中心であるが、洪水調節施設に対してはどのようにしていくのか。	洪水調節施設の検討は進めており、本文には流出抑制施設も含めて随時検討を進めていくことを記載した。
	D委員	今後、降雨量が増えるのは間違いない。あらゆるシナリオを想定し、洪水調節施設も含めて計画の見直しをする必要がある。	—
資料4	E委員	流域治水プロジェクトの取り組みに対して、生物多様性を確認するための事前の生物調査は自治体が独自でやるのか。	流域治水プロジェクトの記載内容は、関係機関と協働で実施していく内容である。実施主体は、各関係機関となる。
資料5	F委員	資料5 P.6の河川整備計画目標案の検討過程と、資料3 P.3の見直しの考え方が整合していないのではないか。	資料3は、変更整備計画のメニューをチェックするために必要となってくることから、このような形で資料を作成している。
	D委員	資料5 P.2：大正7年や大正12年の流量の算出方法について、文章で追記した方がよいのではないか。	大正7年、12年の流量算出方法についての補足説明内容については、検討のうえ追記を行う。
	A委員	資料5 P.6：変更整備計画流量の算定根拠の説明が記載されているが、理解できない。	計画高水ピーク流量等の決定洪水である S.40.9型の雨を1/50規模の雨になるように引伸ばし、流出計算して得られた流量である。

資料 6	F 委員	気候変動の影響を降雨量の 1.1 倍は、いつ時点を想定しているのか。今回の整備内容が十分なのか判断するためにも、分かるのであれば資料に示してもらいたい。	2100 年末の気候変動の影響を想定したものである。変更整備計画では、2100 年に達するまでの途中段階の計画であり、気候変動を踏まえた目標設定が図られていると考えている。
	G 委員	中州の河道掘削は、特定外来種が拡散しないよう配慮が必要である。	水辺の国勢調査で外来種の繁殖情報を確認し、箇所毎に対策方法を検討していきたい。
	G 委員	気候変動により降雨が 1.1 倍となった場合、上流の支川で自然ダムができ、環境に影響することがないか心配であり、いずれかの時点で吟味する必要がある。	今回は整備計画であり、今後 20 年間の整備を検討したものである。今後、基本方針を含めて洪水調節施設の検討や、河道の整備の方向性を検討していく中で必要な検討を進めていきたい。
	H 委員	治水・利水・環境について記載すべきだが、利水の記載が少ない。データが蓄積されているので、気候変動の影響を評価し、渇水への対策の記載も必要ではないか。	本文の内容を事務局内で精査し、必要に応じ修正する。※ 1
	B 委員	資料 6 P.3：気候変動を抑制する力が生物多様性であり、うまく利用することが必要であり、「潤いと安らぎに満ちた千代川の実現」は「豊かな生物相と安らぎに満ちた千代川の実現」に代えてはどうか。	本文の内容を事務局内で精査し、必要に応じ修正する。※ 1
	B 委員	資料 6 P.5：「水際」は局所的な場所を示すものであり、エコトーンや推移帯という言い方にすべきではないか。	本文の内容を事務局内で精査し、必要に応じ修正する。※ 1
	A 委員	資料 6 P.4：「4.1.2 整備の目標」の文中に「河道に配分する流量は 4,900m ³ /s とし、・・・」の文章が 2 回記載してあるが、間違いではないか。	指摘の通り、同じ文面が 2 回記載されており、修正する。
資料 7	A 委員	本文の利水の記載が少ない。袋川下流は殿ダム出来て改善されたが、本川についても記載が必要である。	本文の内容を事務局内で精査し、必要に応じ修正する。※ 1
	I 委員	資料 7 P.84：河道内の樹木管理生態系への影響において、繁殖時期も触れておいた方がよい。	本文の内容を事務局内で精査し、必要に応じ修正する。※ 1
	E 委員	資料 7 P.5：自然環境の項目で、動物に関する記載が僅かであり、魚類や昆虫類などを追記してもらいたい。	本文の内容を事務局内で精査し、必要に応じ修正する。※ 1
	E 委員	資料 7 P.33：表 2.3.1 は重要種の確認種数だけであるが、重要種だけ問題視するのではなく千代川水系の生物の多様性として河川水辺の国勢調査の確認種も表示してもらいたい。	本文の内容を事務局内で精査し、必要に応じ修正する。※ 1
資料 8	—	意見なし	—
資料 9	—	意見なし	—

※ 1 事務局の回答及び対応にて「本文の内容を事務局内で精査し、必要に応じ修正する」とした内容について、第 7 回千代川の今後を考える学識懇談会にて報告予定

3. 閉会

・河川部 河川環境課長 挨拶

【配布資料】

- 資料1 千代川の今後を考える学識懇談会 設立趣旨、規約、情報公開について
- 資料2 千代川水系河川整備計画変更に向けたスケジュール（案）
- 資料3 第5回会議でのご意見と対応
- 資料4 最近の河川事業に関する動向
- 資料5 千代川水系河川整備計画変更目標・整備メニュー（案）
- 資料6 千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更）（原案）（案）の主な変更内容
- 資料7 千代川水系河川整備計画【大臣管理区間】（変更）（原案）（案）
- 資料8 千代川水系河川整備計画（現行）と千代川水系河川整備計画（変更）（原案）（案）の本文対比表
- 資料9 千代川水系河川整備計画（変更）（原案）への意見募集